

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ウラギンシジミ	シジミチョウ科	裏が銀色のタテハチョウの ようなシジミチョウ	○	○	○	本州以南



生田緑地 5月下旬♂



生田緑地 9月下旬♀



生田緑地 9月中旬♂ 飛翔力の強そうな体型。実際極めて速い



← 生田緑地 11月初旬 シラカシの実を訪れる。秋型は前羽の先が尖る傾向

→ 多摩川土手 中野島 8月下旬♀
クズの葉上にとまる



↑ 幼虫は尾端の角からブラッシ状のものを線香花火のように高速で出し入れして相手を威嚇する。2頭の終齢幼虫の出会い。中野島 9月上旬

成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草 ○ 食樹							発生回数/年		越冬形態		
クズ、フジ、ハリエンジュほかマメ科							2		成虫		

春から初夏にかけても見られますが、クズの花が咲く秋口には特に多く（クズの花、蕾を食す）、ハイム内でも見かけることがあります。オスの羽表は橙色、メスは白色で共に縁取りは幅の広い濃灰色ですが裏は共通して名前の通り銀白色で、猛スピードで飛んでいてもこの銀白色はよく目立ちます。晩秋には常緑広葉樹に集まる習性があり、生田緑地でもつつじ山頂上付近のシラカシにはたくさん本種が集まっているのが観察でき、これらの樹の葉裏で成虫越冬します。幼虫は線香花火（写真）のような奇妙なパフォーマンスで敵を威嚇します。